

ロンドン、2021年12月7日

## 中国の HBIS 集団向け BOF 転炉から更新の KOBM 転炉が稼働開始

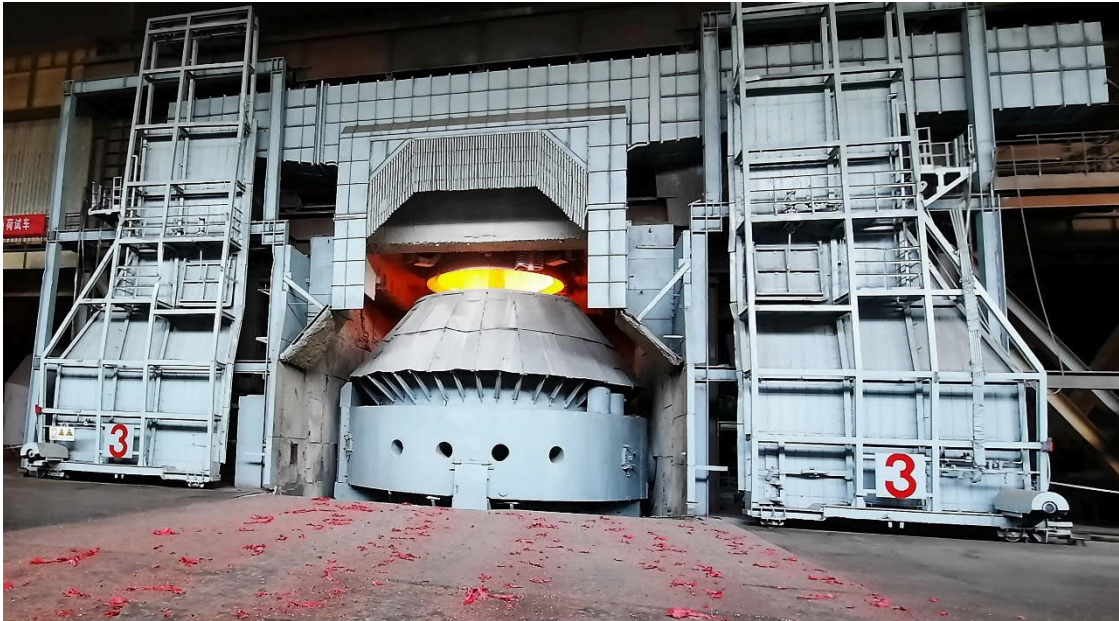
- 底吹きシステムと新しいプロセス制御システムの導入
- KOBM 転炉では吹錬処理時間が短縮、鋼の清浄度が改善
- 向上した鋼質で自動車産業のニーズを満たす

プライメタルズテクノロジーズ (Primetals Technologies) が HBIS 集団邯鄲鋼鉄 (HBIS Group Handan Iron and Steel 以下、HBIS 集団) の中国河北省邯鄲にある同社製鉄所の既設 BOF 転炉から更新した KOBM (Kombiniertes Oxygen Blown Bottom Maxhütte) 転炉が稼働開始しました。BOF 転炉に比べ、KOBM 転炉は上底吹き複合転炉であるため、鋼浴の攪拌性が向上し、冶金反応がより平衡に近づきます。また、生石灰インジェクションにより、迅速なスラグ生成と、優れたプロセスおよびスロッピング制御が実現します。よって、吹錬処理時間が短縮され、出鋼時の溶鋼中の炭素-酸素平衡値が低下し、スラグ量とスラグ中の酸化鉄量低減により歩留まりが改善され、含有物と不純物を最小限に抑えた清浄度が一層高い鋼を溶製できるようになります。向上した鋼質は、特に自動車産業のニーズに沿っています。その上、この新しい転炉は、出鋼時の取鍋添加物のほかに、生石灰添加にかかるコストも節減します。

当社は新しいプロセス制御システムも含めた機械設備の設計・製造・供給と、据付、稼働開始、試運転を担当しました。試運転中には厳しい規制を設けて現場でのトレーニングを行いました。

HBIS 集団は、当社の豊富な KOBM 転炉納入実績と、この高度な製鉄技術に関するプラントエンジニアリング、冶金、プロセス毎の自動制御ノウハウを認めてこの工事を当社に発注しました。当社と、フォーチュン 500 に名を連ねる HBIS 集団は、これまで 14 年以上にわたり、新プラント建設、既存プラント改造および近代化、ライフサイクル管理、自動化とデジタル化について協力してきました。

た。



プライメタルズテクノロジーズが BOD 転炉から更新した KOBM 転炉が中国河北省邯鄲にある HBIS 製鉄所で稼働開始

他言語（英語・ドイツ語・中国語・ポルトガル語・ロシア語）による（プレスリリース及び資料は、以下の URL よりご覧になれます。 [www.primetals.com/press/](http://www.primetals.com/press/)

**報道関係お問い合わせ先:**

プライメタルズ テクノロジーズ ジャパン株式会社 社長室（広報担当：山下）  
〒733-8553 広島市西区観音新町四丁目 6-22 三菱重工業（株）広島製作所内  
電話 082-291-2181

プライメタルズ テクノロジーズ 公式ツイッター: [twitter.com/primetals](https://twitter.com/primetals)

プライメタルズ テクノロジーズ (Primetals Technologies, Limited) は本社を英国・ロンドンに置き、金属鉄鋼産業におけるエンジニアリング、プラント建設、およびライフサイクルサービスの提供を行うパイオニアかつ世界的リーダーです。当社は電機、オートメーション、デジタルイゼーション、及び環境の総合ソリューションを含めた技術、製品、サービスの一式を提供しており、原材料から完成品まで鉄鋼のあらゆる分野を網羅するだけでなく、非鉄分野でも最新の圧延ソリューションをお届けします。当社は三菱重工およびパートナーの出資によるグループ会社で、従業員数は全世界で約 7,000 人です。詳しくは、下記 URL より当社公式ウェブサイトをご覧ください。

公式ウェブサイト: <https://www.primetals.com/jp>

**Primetals Technologies, Limited**  
A joint venture of Mitsubishi Heavy Industries and partners  
Communications  
Head: Gerlinde Djumlija

Chiswick Park, Building 11, 566 Chiswick High Road  
W4 5YS London  
United Kingdom